

SUZUKI・Y 250 改・Yajima special

遥かなる青空の彼方に

日本一周 Vol. 10

1978年8月11日～1982年8月17日

遥かなる青空の彼方に 其の壱拾

<http://p.booklog.jp/book/35567>

著者 : lauriercb4004in1

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/lauriercb4004in1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/35567>

ブックログのpapier本棚へ入れる

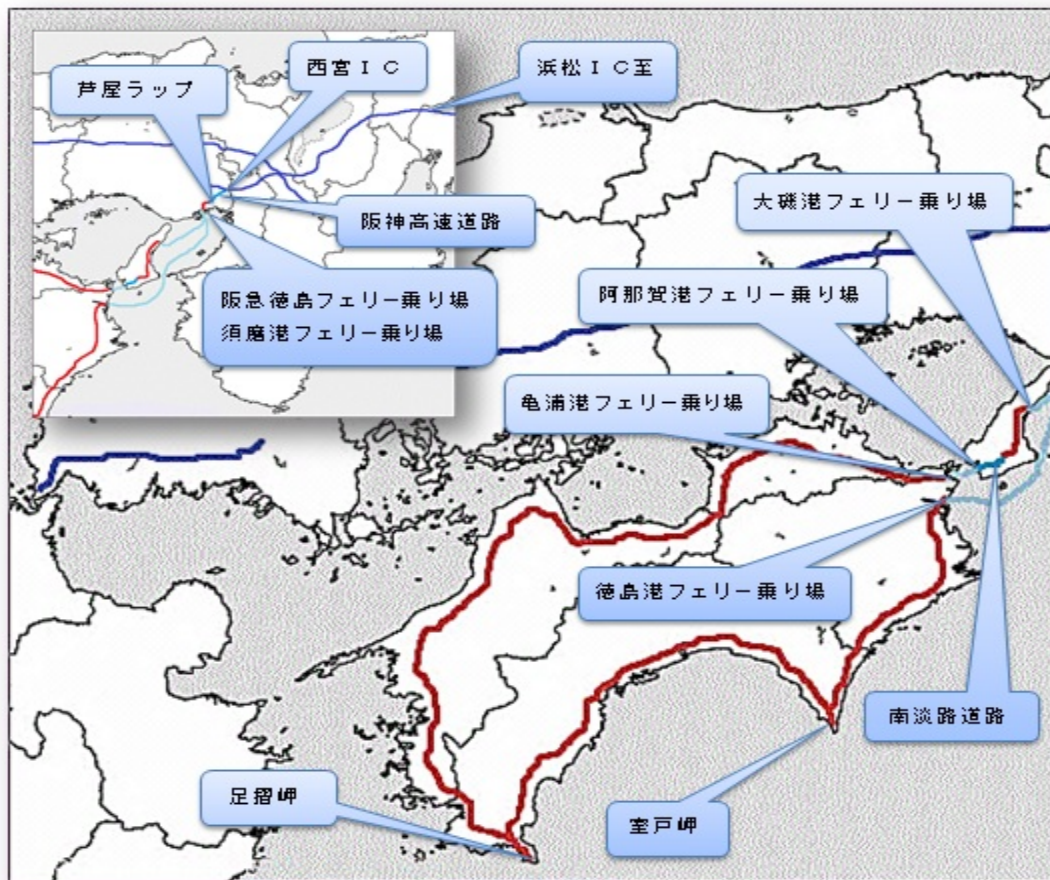
<http://booklog.jp/puboo/book/35567>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

四国 編(1982年 5月1日~4日)

全走行経路



全走行距離 1,622.1km・燃費 26km/ℓ

1982年 4月30日 (金) 晴れ

CB400・FOURは、通勤で使っている事もあり、3年間のロング・ツーリングと昨年の北海道ツーリングで、かなりの負担を掛けてしまい再起不能になる。

生産中止から5年が経ち交換部品も多くなり、部品がなかなか手に入らなくなって維持が難しく、元気に走せる事が出来なくなってしまった。

新しい相棒【**CBX400F**】を駆り、再びロング・ツーリングに旅立つ。



(CBX400F 改)

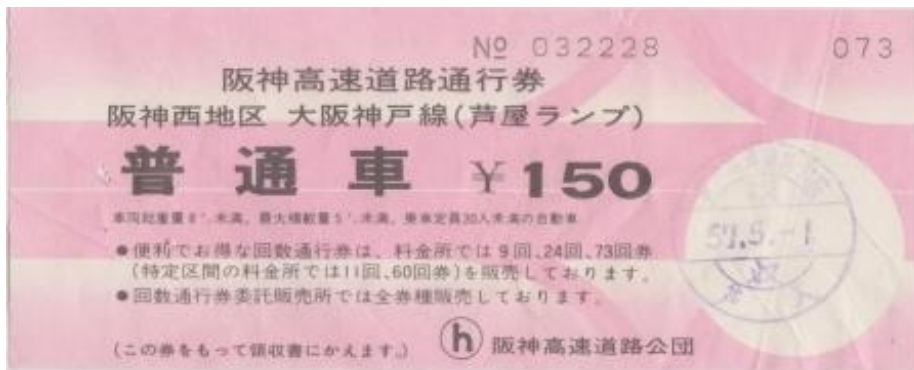
1982年 5月1日(土) 晴れのち曇りのち

寝坊してしまった、夜勤明けで睡眠時間が4時間・・・。

AM8:00、出発、浜松I・Cから東名高速道路で名古屋に向かう、途中で雨が降り始める、家を出る時は晴れていたのに・・・。

名神高速道路を走行中に雨は小降りになり、西宮I・Cを降りる頃には雨が上がる。

AM10:45、西宮I・Cに到着し国道43(阪神高速道路・¥150)に乗り換えて、芦屋ラップで降りて阪急徳島フェリー・ターミナルに向かう。



(有料道路の領収書)

ここまでは、順調でPM12:05出港の徳島行のフェリーに乗れると思っていたのだが、なんと！間違えて別のフェリー・ターミナルにいた。

『もう！出航の時間に間に合わないので諦めの一服、タバコに火を付け落ち付く』



(フェリーターミナルの間違えに気付く前)

徳島フェリー・ターミナルに着いたのがPM12:35、出港まで1時間以上あるので

昼食（カツカレー）を食べてから乗船手続き（¥3,720）を済ませる。



（フェリーの領収書）

地図を見ているとフェリーで徳島に帰るといふ、兄ちゃんと話しをして時間をつぶしている時にキップの行き先が違う事に気付く、キップを交換して乗船開始、初日からトラブルが続く。

PM 2 : 20、出港、雲行きが怪しく成って来て雨が降りそうだ。

PM 4 : 40、徳島に到着、雨が降っている。

フェリー・ターミナルをあとにして、国道55を走り今夜の宿の徳島ユース・ホテルに向かう、フェリー・ターミナルからそんなに距離が無いはずなのに走っても着かない、日が落ちて周りは段々と暗く成って来て気持ちが焦る。

『道を間違えたのでは？』

ガソリン・スタンドに立ち寄って給油するついでにスタンドの兄ちゃんに徳島ユース・ホテルまでの道を教えてもらう。

迷ったら地元の人に聞くのが一番だあ！

来た道に戻り地図を頼りに走る、日が落ちて辺りが暗く成りユース・ホテルの小さな案内の看板を見落としていた。

PM 6 : 50、徳島ユース・ホテルに到着、ユース・ホテルは山を一つ越した海岸側にあった。

徳島ユース・ホテルのミーティングは、男ばかり(20人)の泊まり客で阿波踊りの練習をさせられる、女子が居れば少しは雰囲気が違うのだが、男ばかりでマイッタ・・・！

全走行距離 345.8 km · 燃費 28 km/l

5月2日(日) 雨のち曇りのち晴れ

朝、雨が降っている。

いつも、そうだが出発の時に雨が降っていると気がめいる、カッパを着てオートバイに荷物を取りつける。

AM7:10、出発、徳島ユース・ホテルをあとにして、国道438で**剣山(つるぎざん)**[Y1]の鶴石・亀石見に行く予定だったが、5月と言ってもこの雨の中、平地でも気温が上がらないのに標高1954mの剣山の気温は、かなり低いと思うから予定を変更して国道55で室戸岬に向かう、太平洋を見ながら国道55を南下するが2時間でパンツまで雨が浸み込む。

AM9:45、室戸岬に到着。

売店の中は温かい！ホット・コーヒーを飲んでお土産を物色して時間を掛けて冷えた体を温める売店で時間を潰していたら、雨が小降りになったので濡れたカッパを着て岬の先端まで歩いて灯台を見に行く。

明治の初め頃に建てられた100年前の灯台が、まだ現役というから凄い。

[Y1]剣山(つるぎざん)

【剣山(つるぎざん)には、ソロモンの秘宝(契約の箱・アーク)が隠されていると、いう伝説がある。】

【剣山には、地下に大きな鍾乳洞があり、それを利用して弘報大師・空海は、第五十二代天皇の嵯峨天皇の命より、地下にソロモンの秘宝(契約の箱)を隠し、四国の周りに八十八の結界を張った。その入り口が古劔神社(こつるぎじんじゃ)という行場にある小さな社の上の崖を登った穴が、弘法大師・空海が作った地下施設の抜け穴】【栗枝渡神社(くりしとじんじゃ)は、鳥居の無い変わった神社で瓦の紋が16菊花紋とはっぴには天皇の紋の桐の紋が使われている】



(室戸岬)

室戸岬をあとにして、国道55に戻り高知市を目指す、室戸岬から国道55をしばらく走ると中岡慎太郎の像が在って太平洋を見つめている。（中岡慎太郎と言えば、坂本龍馬ですねえ！）



（中岡慎太郎の像）

国道55は、ネズミ捕りが多いと聞いていたが雨のお陰で取り締まりはやっていなかった。（天気良ければ太平洋が綺麗に見えるのに！）

高知市に入り、[地球33番地\[Y1\]](#)の地点に行く。

市内を抜けて国道55で標識にしたがって桂浜に向かう。

桂浜に着いたが駐車場は満車でオートバイも入る事が出来ないし、駐車場の空き待ちを待ってても、しかたが無いので坂本龍馬像は諦める。

[\[Y1\]地球33番地](#)

【地球33番地とは、東経133度33分33秒北緯33度33分33秒同じ数字が12個並ぶ地点。世界で陸上にあるのは9ヶ所だけ】

司馬遼太郎の本も良いが俺は、漫画の「お〜い！竜馬」（小山ゆう、画・武田鉄矢、原作）を思い出す。



(案内板で現在地を確認)

桂浜から国道56を走って、土佐市に入ると雨雲が切れ始める、国道56から国道321に入り、四万十川を渡り土佐清水市を抜けて足摺岬を目指して走っていると天気が完全に回復、晴天になった四万十川の上流は時間が無くて諦める。

足摺岬には、足摺岬有料道路を通るのをやめて、海岸沿いの旧道を走りPM3:50ごろ足摺岬に到着。



(足摺岬)

岬まで歩いて行くと、ここでGSXの人に会い20分くらい話をして別れる。
今夜の宿は、足摺岬の近くある白皇ユース・ホテル。

PM4:40、白皇ユース・ホテルに到着、オートバイの台数も多く人で混雑！男の倍、女子が泊まっている。



(海岸沿いの旧道)

PM7:45、ユース・ホテルの前で、満員で泊まれなかったカワサキ・Z1のヒューズが飛んでしまい、エンジンが掛からなくなってしまった。

俺と泊まり客のRSの兄ちゃんとで、ヒューズを提供したが三度ヒューズが飛んでしまい電気系統の何処かでショートしていると判断して、テスターが無いとショート箇所が判らないのでバイク屋さんをユース・ホテルの人に頼んで呼んでもらう。

PM9:30、Z1は、ショート箇所が判り直る。

かなり改造してあるZ1は『今日の雨で、むき出しになっていた配線に雨が入っ

てショートしたのではと』バイク屋さんは言っていた。Z1の兄ちゃんは、これから次の泊まれる宿まで走るそうだ。

全走行距離 395.7 km・燃費 22 km/l

5月3日(月) 雨

AM6:00、空は厚い雲に覆われて雨が降りそうだ。

AM7:28、オートバイに荷物を付けていると、昨夜のSRの兄ちゃんが見送りに来てくれて挨拶をして走り出す。

白皇ユース・ホテルをあとにして、国道321を目指すが道は所々、広くは成るが狭い道が多い、山側の道路は道が狭く落石あって道路が岩だらけ。

岩を避けながらひとすら走り、ようやく国道321に出る。

国道321から国道352を走り宿毛市に入ると雨が降り始める、宿毛市を抜けて高知県から愛媛県に入り国道56で松山市を目指す、松山市に入ると瀬戸内海が見えて来た。

国道196に入ったら、オートバイも自動車も少なくなって雨が一段と強くなり、パンツまで浸み込んで濡れる。

瀬戸内海は「ドンヨリ」してる晴れていれば、瀬戸内海に浮かぶ島々が綺麗なのに！松山市を過ぎた所で、ドライブ・インに入り昼食を食べ休憩をする、まだ目的地の鳴門市まで260km以上ある雨の中を走るのは、普段以上に神経を使うから疲れる。

国道11で高松市を目指す、行き交うオートバイは無くなり俺一人が走っている、途中【金刀比羅宮⇒】の標識が在ったが雨の中カップを着て785段の階段を登る気力が無いので諦める。

高松市は都会だ！高いビル群が立ち並び、名古屋市と同じ雰囲気がある。

高松市を抜け途中のドライブ・インで休憩をしていると、ツーリングの団体が来る。(30台の団体に4グループに分かれてドライブ・インに入って来た)

休憩を終えて再び、ひたすら国道11を走り続ける、それにしても雨は止みそうに無い。

PM7:35、鳴門市に入り休憩を兼ねて、オート・スナックでカップ・ラーメンを食べ夕食とする。

雨の中12時間、走り続けてさすがに体力の限界が来て疲れた。

地図を見て、鳴門ユース・ホテルの場所を確認していると、オート・スナックの管理人のおじさんが鳴門ユース・ホテルまでの道を地図に書いて教えてくれる、おじさんと少し雑談をしてユース・ホテルに向かう。

おじさんの書いてくれた地図を頼りに走っていたが、鳴門ユース・ホテルに着かない位置を確認する為に鳴門駅まで戻る。

鳴門駅に戻り、駅前でオートバイを止めようとした時に、バランスを崩してオートバイを倒しそうになるが根性で体制を持ち直した、アブナカッタ！

駅で、鳴門ユース・ホステルの場所を教えてもらったのと、おじさんに書いてもらった地図は鳴門ユース・ホステルの場所が違っていた・・・。

駅で教えられた通りに走ると公園の様な所に出たが、建物が何も無い周り暗く明かりが殆ど無い、ここにユース・ホステルが本当にあるのか？

オートバイのヘッド・ライトで、周りを照らすと小さな看板があり【ユース・ホステル⇒】が有った矢印の方には小高い丘を登る道がある。

PM 8 : 5 0 ごろに鳴門ユース・ホステルに到着。

疲れた～あ。（ユース・ホステルには、男ばかり6人だけ泊まっている。）

あまり遅いので、ユース・ホステルの人が心配していた。『遅れるなら電話を掛けて下さい』と怒られてしまった。

四国のユース・ホステルは、どこも思いがけない場所にあるからユース・ホステル協会の発行しているガイド・ブックの略地図だけでは場所が解らない時がある。

昼間は、ともかく夜になったら、ここのユース・ホステルの場所は解らない！案内看板が目線より下で小さすぎる。

今日は散々な日だった一日中、雨が降っているし霧と落石で道路は凄いことに成っていた・・・。



(鳴門ユース・ホステルから見た風景だと思う？)

全走行距離 469.8 km · 燃費 25 km/ℓ

5月4日 (月) 晴れ

出発の準備をしていると、ユース・ホステルの人に来て『昨日、女性ライダーが泊まった』と話し掛けてくる。

俺にそんな事を言って来ても返事に困り、ただ『そうですか』と言う。

AM7:24、出発

鳴門ユース・ホステルをあたにして、ガソリン・スタンドで給油し、鳴門公園に渦潮を見に行くが、1時間待たないと渦潮は発生しない様でフェリーの時間もあるので諦める。

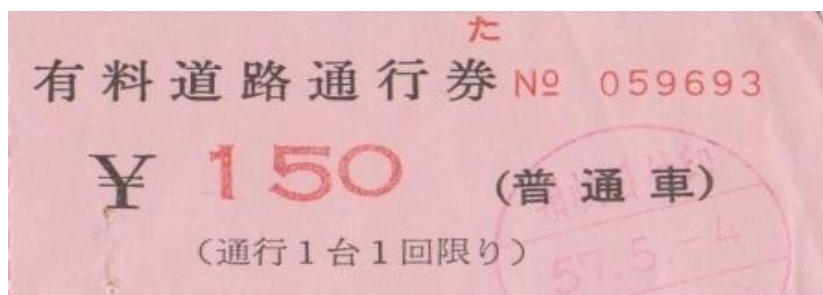
亀浦港フェリー乗り場に着いたのが、出航ギリギリで何とか乗船手続きに間に合う。

AM8:00のフェリー (¥450) に乗船、フェリーの中で浜松から来ている人と出会い、話をしている内に阿那賀港フェリー乗り場に到着。



(フェリーの領収書)

ターミナルの売店を物色して四国で買えなかったお土産えを買ってから、ターミナルをあとにして、国道28から南淡路道路 (¥150) を通り大磯港フェリー乗り場に向かう。

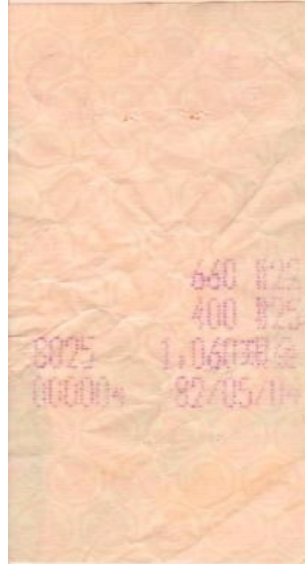


本券をもって領収書にかえます。

兵庫県道路公社

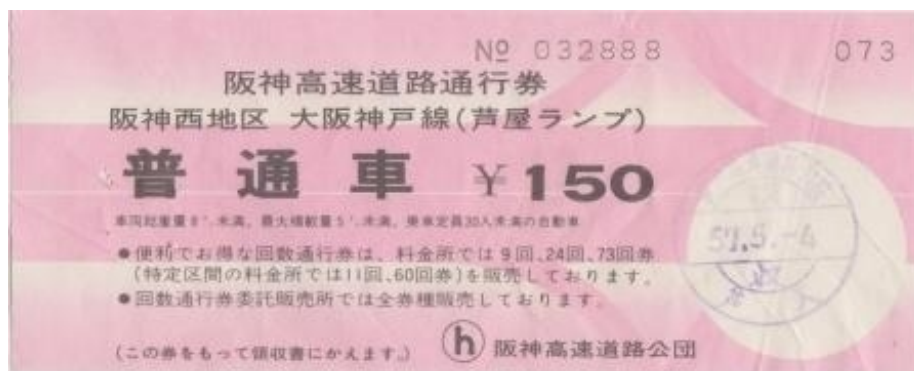
(有料道路の領収書)

大磯港フェリーに乗るのは2度目、ターミナルの建物が変わって綺麗に成っていた。
AM10:00、大磯港フェリー(¥1,060)に乗る。



(フェリーの領収書)

須磨港フェリー乗り場から、国道2で明石市に向かい国道43(阪神高速道路・¥150)でPM2:00に西宮I・Cに入って、名神高速道路から浜松に向かう。



(高速道路の領収書)

名神高速道路に入り、養老サービス・エリアでガソリン給油し、アイスを食べで一服し、また走り続ける。

休憩で、パーキング・エリアに入ると浜松ナンバーのヤマハ・RZ2台が、なにやらプラグを外して整備をしている。

声を掛け様としたが、いらぬお世話に成るからやめる。(2人もいるのだから大丈夫だ

ろう)

名神高速道路から東名高速道路に掛けて、団体グループでツーリングしている人や一人で走っている人が凄く多い。

PM4：15、[浜松 I・C](#)に到着し、無事に帰って来た。



(高速道路の領収書)

今回のツーリングは、雨ばかりでキツイ旅だったが、旅は最高！見知らぬ人と出会い別れ、言葉を交わさなくても、ただオートバイに乗っているだけで心が通い合う。人とオートバイ、すばらしい出会いと結びつき、ツーリスト達に幸あれ！

全走行距離 410.8 km・燃費 25 km/ℓ